

経営者・管理者が見るべき経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント（4119248）

経営者・管理者が見るべき経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント
～BIツール導入にあたっては必須になる作業を紹介します

経営視点からの管理帳票（経営管理レポート）の設計方法（管理項目や指標の設定）の基礎から見直しのポイントについて、講義と演習を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっては必須のものとなります。

開催日時	2020年1月17日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	尾田友志 氏 (マネジメントテクノロジーズ, LLC 代表) 株式会社 日本エル・シー・エー 経営開発部 コンサルタント、青山監査法人/ プライスウォーターハウスマネージャー、日本マンパワー バリューマネージャー養成講座 主任講師、中央青山監査法人/PricewaterhouseCoopers ディレクターを経て、現職。スターティア株式会社 社外取締役(兼務)。 <専門分野>経営工学(統計・オペレーションズリサーチ)・財務・管理会計 JUASオープンセミナー「ビジネスモデル構築の作業ステップと手法」、「仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術」、「外部データ(公共オープンデータ等)収集と分析・活用方法」など講演多数。
参加費	JUAS会員/ITC: 33,000円 一般: 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	情報システムの開発・保守において管理帳票の設計を担当される方 中級
開催形式	講義
定員	30名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

<<参加者の声>>

- ・管理会計システムに構築に役立つヒントが多数あると思います(情報システム業)
- ・個別の問題、関心毎にフォーカスして説明して頂いたため、非常に分かりやすかった。
また、管理帳票におけるプロセスの見方、分析できる仕組みが分かりやすかった(情報システム業)

商品や製品と同様に企業にも導入期・成長期・成熟期・衰退期といったサイクルがあります。成熟期に入った業界に所属する企業でありながら、システムの改修時に管理レポートの修正まで手が回らなかったため、導入期・成長期の管理指標を使い続けていることがあります。他方、会計基準の変更等により見るべき管理項目も変わってきました。今後はキャッシュフロー(フリーキャッシュフロー)がより重視されます。

本セミナーでは、経営視点からの管理帳票(経営管理レポート)の設計方法(管理項目や指標の設定)の基礎から見直しのポイントについて、講義を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっては必須のものとなります。

<<内容>>

第1部 経営管理レポートの設計・見直しのステップ

- (1) Step-1: 自社のなりたい姿を明確にする
- (2) Step-2: 重要経営管理指標を定義する

- (3) Step-3 : 指標の関連性を検討する
- (4) Step-4 : 定型的管理指標を整備する
- (5) Step-5 : レポーティング

第2部 経営管理指標（経営管理レポート）の設計（設定）手法

- (1) 財務の側面から経営管理指標を導き出す
- (2) 企業価値(売上方程式)の側面から経営管理指標を導き出す
- (3) 業界構造分析の側面から経営管理指標を導き出す
- (4) 業界ライフサイクルの側面から経営管理指標を導き出す
- (5) ABC/ABMの側面から経営管理指標を導き出す
- (6) 定性指標・その他の側面から経営管理指標を導き出す